

## 秋田市マイタウン・バス東部線(木曾石コース)の導入経緯

### 1 秋田市の乗合バス事業の現状について

県内の乗合バス輸送人員(利用者数)は、マイカー社会の進展などを背景に、年々減り続け、平成18年度はピーク時である昭和44年度の7分の1以下にまで落ち込んでいる。

秋田市においても同様の減少となっており、平成9年から平成19年までの10年間で48%もの減少となっている。

### 2 廃止前の木曾石線(路線バス)の利用状況

〔下り〕

	平成18年								平成21年							
	※ 6:23		12:15		17:00		計		※ 6:43		12:35		17:20		計	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
藤崎												1				1
仁部下丁						2		2								
仁部上丁				2				2								
和岱入口				1				1				1		3		4
堂ノ前				2				2								
公民館前														1		1
木曾石下丁				1				1								0
木曾石				1		1		2						2		2
計				7		3		10				2		6		8

〔上り〕

	平成18年								平成21年							
	※ 7:13		13:05		18:00		計		※ 7:13		13:05		18:00		計	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
木曾石	1		1				2				3				3	
木曾石下丁	1		1				2								0	
公民館前											1				1	
堂ノ前	2						2		1						1	
和岱入口	1		2				3		1		1		1		3	
仁部上丁	3		1				4				1				1	
仁部下丁	4		2				6								0	
藤崎			1		1		2		1	1					1	1
計	12		8		1		21		3	1	6		1		10	1

★平成18年は、11/13(日)～11/19(土)の7日間の調査  
 ★平成21年は、6/28(日)～7/4(土)の7日間の調査  
 ★※印は、土日・祝日運休

【参考】木曾石～藤崎区間の概算値

(1)営業キロ数に基づく経費の概算  $9.596\text{千円} \times 4.7\text{km} / 16.1\text{km} = 2.801\text{千円}$

(2)1週間の実績に基づく年間利用者数の概算  $19\text{人} \times 52\text{週} = 988\text{人}$

### 3 秋田市の現状と取り組み

#### (1)市内乗合バスの現状

- 平成12年度～平成17年度にかけ、秋田市交通局の38路線を順次秋田中央交通(株)に移管し、平成18年3月末で秋田市交通局を廃止した。
- 市内バス路線は、ここ10年、輸送人員、運送収入とも毎年約6～7%の減少が続いている。
- 市内を運行する148系統のバス路線のうち、約60%の91系統が赤字(約1億3千万円)で、その赤字を市、県、国が補助(約9千万円)しても、さらにバス事業者の負担がある

#### (2)郊外部の不採算路線の取り組み

- 平成17年2月 市全域のバス路線維持方策を取りまとめた。
  - 1)バス事業者は、路線再編やダイヤ改正等を行い、経費を削減する。
  - 2)バス事業者が路線廃止した不採算路線の郊外部は、市による委託運行を導入する。
  - 3)市民の移動手段を確保する上で必要となる、当面の市単独補助制度を創設する。
- 平成17年10月～ 秋田市マイタウン・バス西部線の運行開始
- 平成20年 4月～ 秋田市マイタウン・バス北部線(予約式乗合タクシー)の運行開始
- 平成21年10月～ 秋田市マイタウン・バス南部線(一部予約式乗合タクシー)の運行開始
- 平成22年 4月～ 秋田市マイタウン・バス東部線の運行開始

